

LIBセパレータのイオン拡散挙動解析

LIBの充放電は電極間でのリチウムイオンの移動により制御され、電極間のセパレータの微細構造に影響される。従って、イオン抵抗の因子を抽出することは極めて重要である。PGSE-NMRを多層膜セパレータに適用すると、各層中のイオンの拡散挙動を解析でき、層間にイオン抵抗となりうる界面が存在した場合、制限拡散という特異的なプロットを観測することで界面抵抗の有無や程度を評価可能である。

